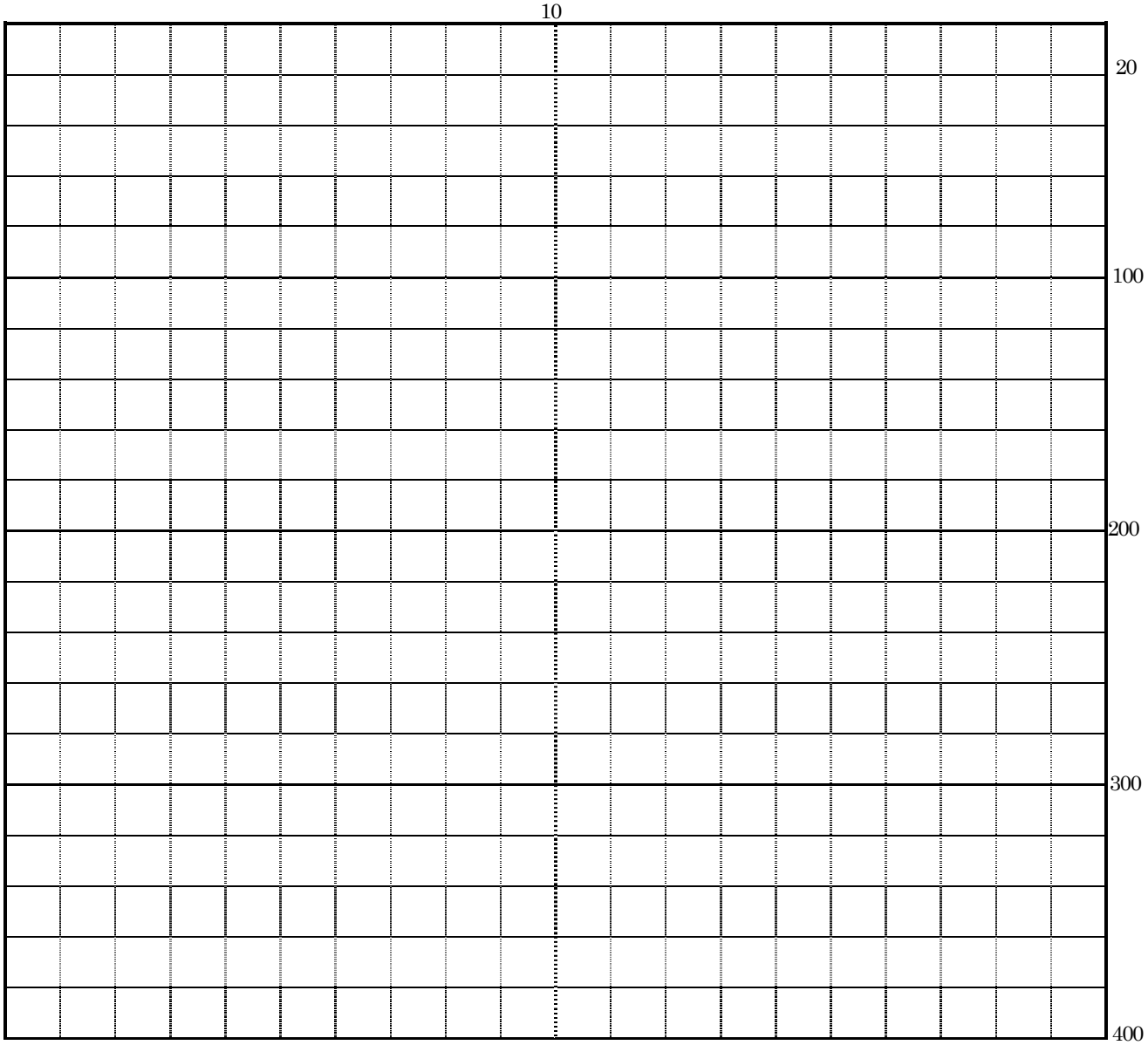
受験番号	※

教職に関する課題文

【設問】

中央教育審議会答申「『令和の日本型学校教育』の構築を目指して～全ての子供たちの可能性を引き出す，個別最適な学びと，協働的な学びの実現～」（令和３年１月２６日）は、2020 年代を通じて実現すべき「令和の日本型学校教育」の姿として、「個別最適な学び」が進められるよう，これまで以上に子供の成長やつまずき，悩みなどの理解に努め，個々の興味・関心・意欲等を踏まえてきめ細かく指導・支援することや，子供が自らの学習の状況を把握し，主体的に学習を調整することができるよう促していくことが求められるとしている。その一方で、「個別最適な学び」が「孤立した学び」に陥らないよう，探究的な学習や体験活動等を通じ，子供同士で，あるいは多様な他者と協働しながら，他者を価値ある存在として尊重し，様々な社会的な変化を乗り越え，持続可能な社会の創り手となることができるよう，必要な資質・能力を育成する「協働的な学び」を充実することも重要であることを指摘している。

このことについて，具体的にどのような実践的な課題が考えられるのかを挙げ，それに対し、あなたは入学後，志望するプログラム又はサブプログラムでの学びを通してどのように深めようと考えているか，1000 字以内で説明しなさい。なお、課題文作成にあたり生成 AI を活用した際には、活用した部分も 1000 字以内に含めて明示しなさい。



（裏面に続く）

氏名

500

600

700

800

900

1000